

【合同資源みらい賞】

さかもと ゆみこ
坂本 ユミ子

「一番の思い出」

早いもので結婚して37年になりますね。一番の思い出はあの日のことでした。阪神大震災の翌日、二人で自転車に乗って、片道3時間かけて尼崎のダイエーまで買い出しに行きましたね。行きは何とか通れた2号線だったけれど、帰りは車と人が溢れ、前に進めませんでした。

2号線をあきらめて、わき道に入りました。どの道も動かない自動車の列とその横をすり抜けて行く人々で埋め尽くされていました。残された道は一つでした。普段は絶対に通れないけれど、今なら通れる道。あなたが嬉しそうに言いました。

「これが一番近道や」

「ほんまやね、行きもここを通ればよかった」

阪急の線路上、背中にパンパンに膨らんだバックパックを背負い、前と後ろに山のような荷物を積んだ自転車を押しながら、二人で笑いましたね。店も家も全壊して、笑っている場合ではなかったのに。

「長い一日やったなあ。ようがんばってくれた。ありがとう」

あなたは言うてくれました。あの時、心から思いました。あなたがいてくれて本当によかった。これからも同じ道を二人で助け合い、いたわりあって歩いて行きたいと。

終

(兵庫県/61歳/女性/会社員)

感謝の気持ちを書きました。